

政策シート (政策名) 豊かで安全・健康で快適な環境づくり

(予算費目名) 環境保全費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

市民、事業者、行政が環境保全に関するそれぞれの役割を認識し、協働して各種環境保全活動を実践することにより、「良好な大気環境や水環境の保全」を図るとともに、「感覚公害のないまち」を実現し、「健康で安心して暮らせる生活環境」や「潤いのある豊かな自然環境」の確保を目指す。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	24,885	21,830	24,709	21,825
決算	23,343	20,538	23,255	
人件費(A)	133,000	140,000	140,000	136,600
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	156,343	160,538	163,255	158,425

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
大気環境基準4項目(SO ₂ 、NO ₂ 、CO、SPM)の環境基準値達成割合	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
自動車騒音の要請限度内達成割合	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
公共用水域の環境基準達成率	%	95	目標	95	95	95	95
			実績	95.0	96.0	95.0	

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

市民、事業者、行政が環境保全に関するそれぞれの役割を認識し、協働して各種環境保全活動を実践することにより、「良好な大気環境や水環境の保全」を図るとともに、「感覚公害のないまち」を実現し、「健康で安心して暮らせる生活環境」や「潤いのある豊かな自然環境」の確保を目指す。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・平成29年度の公共用水域の環境基準達成率は95.0%、大気、自動車騒音の達成割合は100%であり、目標を達成している状況である。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	大気・騒音対策事業					52,953	2,553	7.2			
2	水質保全事業					72,580	10,940	8.6	0.4		
3	雨水浸透ます普及事業		〇〇			7,159	5,019	0.1	0.4		
4	環境保全運営経費					25,733	3,313	3.1	0.2		
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						158,425	21,825	19.0	1.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 大気・騒音対策事業

◇事業目的・事業対象

大気汚染の状況の監視、測定計画の作成及び調整、悪臭の防止等、大気汚染防止法や悪臭防止法等の法令に規定される事務の施行を基本とし、市民、事業者等への啓発、事故発生時の対策等に努め、健全で豊かな生活環境を保全する。また騒音規制法、振動規制法及び静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づき、騒音及び振動に係る生活環境を保全し、市民の健康の保護に資する。

◇事業の概要

- ・PRTR法に基づく事業者からの報告の受理及び国への報告(法定)
- ・自動車排出ガスを含む大気汚染の状況に係る常時監視とデータの公表(法定)
- ・ダイオキシン類の発生抑制対策、ダイオキシン類対策特別措置法に定める自主測定結果の公表(法定)
- ・有害大気汚染物質の測定結果の整理と公表(法定)
- ・大気に係る事故の緊急時対応並びにオキシダントの監視及び注意報の対応(法定)
- ・大気汚染防止法、騒音・振動規制法、悪臭防止法及び県条例等に基づく届出受付事務及び特定事業所の立入検査(法定)
- ・大気汚染防止法一部改正(水銀大気排出規制)に伴う事業者への周知
- ・微小粒子状物質(PM2.5)に係る注意喚起情報の市民への提供
- ・各種公害相談に対する受付及び指導
- ・自動車騒音、航空機騒音及び一般環境騒音の測定結果の整理及び公表(法定)
- ・感覚公害防止のための浜松市音・かおり・光環境創造条例の啓発活動

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和43年度	-	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令義務)、自治事務(その他)	公害関係法(大気汚染防止法、騒音規制法等)、静岡県生活環境の保全等に関する条例等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	2,475	1,368	1,109	2,553
	決算	1,992	1,114	810	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	1,992	1,114	810	2,553
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等)(千円)					
人件費(千円)		47,600	57,400	50,400	50,400
人工	正規	6.8	8.2	7.2	7.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
大気環境基準4項目(SO ₂ 、NO ₂ 、CO、SPM)の環境基準値達成割合				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100%	100%	100%	100%		100%
実績値	100%	100%	100%			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
自動車騒音の要請限度内達成割合						-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100%	100%	100%	100%		100%
実績値	100%	100%	100%			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・PRTR法に基づく事業者からの報告の受理及び国への報告(法定)
- ・自動車排出ガスを含む大気汚染の状況に係る常時監視とデータの公表(法定)
- ・ダイオキシン類の発生抑制対策、ダイオキシン類対策特別措置法に定める自主測定結果の公表(法定)
- ・有害大気汚染物質の測定結果の整理と公表(法定)
- ・大気に係る事故の緊急時対応並びにオキシダントの監視及び注意報の対策(法定)
- ・大気汚染防止法、騒音・振動規制法、悪臭防止法及び県条例等に基づく届出受付事務及び特定事業所の立入検査(法定)
- ・微小粒子状物質(PM2.5)に係る濃度予測情報の市民への提供
- ・各種公害相談に対する受付及び指導
- ・自動車騒音、航空機騒音及び一般環境騒音の測定結果の整理及び公表(法定)
- ・感覚公害防止のための浜松市音・かおり・光環境創造条例の啓発活動

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・大気汚染の状況の監視、測定計画の作成及び調整、悪臭の防止等、大気汚染防止法等の法令に規定される事務は、滞りなく行われており、市民、事業者等への啓発、事故発生時の対策等に努めている。
- ・騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法及び静岡県生活環境の保全等に関する条例に規定される事務は、滞りなく行われており、市民の生活環境を保全し、市民の健康の保護に努めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・農業従事者が行う野焼きや堆肥の施肥及び搬入に伴う臭いに対する苦情数の削減するために、農業従事者向け冊子(担い手通信等)を活用し、苦情の状況等について情報発信を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法及び静岡県生活環境の保全等に関する条例に規定される事務については、引き続き実施していく。

大気汚染防止法の一部改正(水銀大気排出規制)に伴う事務を実施する。

大気汚染防止法及び静岡県生活環境の保全等に関する条例に該当する施設を有する事業場へのばい煙測定等を委託し、大気汚染の監視を強化する。

事業シート (事業名) 水質保全事業

◇事業目的・事業対象

河川、湖沼、海域の公共用水域、地下水及び佐鳴湖、浜名湖など閉鎖性水域などの水質保全並びに地下水障害の除去を図り、健全な生活環境を保全する。

◇事業の概要

- ・水質汚濁防止法、静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出受付事務(法定)
- ・河川、湖沼、海域の公共用水域、地下水などの水質常時監視計画の策定と調査結果のとりまとめ及び公表(法定)
- ・公共用水域における水質事故及び緊急時の対策(法定)
- ・水質特定事業場の指導並びに立入検査計画の策定と結果のとりまとめ及び届出状況のとりまとめ(法定)
- ・土壌汚染対策法に基づく届出や申請に対する事務及び土壌汚染の事業者に対する指導(法定)
- ・「静岡県地下水の採取に関する条例」の施行(法定)及び「西遠地域地下水利用対策協議会」事務局の運営
- ・地下水の水位調査及び塩水化調査
- ・水浴場の水質調査計画の策定と調査結果のとりまとめ
- ・佐鳴湖、浜名湖の水質浄化対策の検討
- ・静岡県浜松土木事務所との「佐鳴湖地域協議会」の運営
- ・「浜松市川や湖を守る条例」の施行及び周知
- ・芳川の着色排水の改善を図るための公共用水域等色汚染対策協議会の事務局運営

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和45年度	-	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令義務)、自治事務(その他)	水質汚濁防止法、土壌汚染対策法、静岡県生活環境の保全等に関する条例、静岡県地下水の採取に関する条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	11,828	11,604	11,258	10,940
	決算	11,293	11,265	10,567	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	11,293	11,265	10,567	10,940
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等)(千円)					
人件費(千円)		51,800	51,800	58,800	61,640
人工	正規	7.4	7.4	8.4	8.6
	再任用(h31)				0.4
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
公共用水域の環境基準達成率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	95%	95%	95%	95%		95%
実績値	95.0%	96.0%	95.0%			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
塩水化していない井戸の本数(母数は57本)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	47本	45本	47本	47本		47本
実績値	45本	47本	47本			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・水質汚濁防止法、静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出受付事務(法定)
- ・河川、湖沼、海域の公共用水域、地下水などの水質常時監視計画の策定と調査結果のとりまとめ及び公表(法定)
- ・公共用水域における水質事故及び緊急時の対策(法定)
- ・水質特定事業場の指導並びに立入検査計画の策定と結果のとりまとめ及び届出状況のとりまとめ(法定)
- ・土壤汚染対策法に基づく届出や申請に対する事務及び土壤汚染の事業者に対する指導(法定)
- ・「静岡県地下水の採取に関する条例」の施行(法定)及び「西遠地域地下水利用対策協議会」事務局の運営
- ・地下水の水位調査及び塩水化調査
- ・水浴場の水質調査計画の策定と調査結果のとりまとめ
- ・佐鳴湖、浜名湖の水質浄化対策の検討
- ・静岡県浜松土木事務所との「佐鳴湖地域協議会」の運営
- ・「浜松市川や湖を守る条例」の施行及び周知
- ・芳川の着色排水の改善を図るための公共用水域等色汚染対策協議会の事務局運営

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・平成29年度の環境基準達成率は、95.0%であり、目標を達成している。
- ・水質汚濁防止法、公共用水域の常時監視、水浴場水質調査、水質事故の対応、特定事業場立入検査、地下水汚染時の対策、土壤汚染地区の指定などにより、公共用水域及び地下水の水質保全を図るとともに、土壤汚染による被害防止を図り、市民の健康保護及び生活環境の保全に努め、それらに関わる事務事業及び調査とりまとめ等は滞りなく行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 ICT化 / 情報発信 事業費 現状 人工 現状

- ・水質データ管理システムの更新に合わせ、新規項目などへの未対応箇所の改修を行い、業務を効率化した。
- ・今年度から、土壤調査が猶予されている事業場にその旨をお知らせする通知を送ることとした。通知先から問い合わせが複数あり、周知の効果があつたことが確認できた。
- ・市内で地下水汚染が発覚した際、調査範囲内だけでなく、周辺の自治会にも飲用に関する注意喚起の回覧を実施することとし、市民の健康の保護を図った。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 その他 / 非常勤・再任用 事業費 現状 人工 縮小

- ・芳川着色度の目標年であることから、色汚染対策協議会の今後について、事業内容を必要性などを踏まえて検討する。
- ・西遠地域地下水利用対策協議会を活用し、地下水障害への対策を図る。
- ・再任用職員を活用する。

事業シート (事業名) 雨水浸透ます普及事業

◇事業目的・事業対象

佐鳴湖の水質保全対策を講じることにより、環境基準の早期達成及び維持を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.71】

・佐鳴湖上流域での雨水浸透ます設置者に対して助成を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)		-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	6,099	5,019	5,019	5,019
	決算	6,078	4,997	4,999	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	6,078	4,997	4,999	5,019
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	4,200	4,200	4,200	2,140
	正規	0.6	0.6	0.6	0.1
	再任用(h31)				0.4
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
雨水浸透ます設置補助基数(各年)				-		71
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	90基	180基	270基	360基		900基
実績値	83基	166基	249基			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.71】

・佐鳴湖上流域での雨水浸透ます設置者に対して助成を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・年度末においても、新規(新設)補助案件の申請が無かったので、改修(既設)補助に流用した。
(新規=@20,000/基、改修=@60,000/基であり、新規10基分を改修案件に流用すると3基しか設置できないので、目標基数に到達しなかった。)

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・合計で3,200基を設置する計画であり、現状の進め方だと相当の時間がかかる。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 情報発信 / 非常勤・再任用 事業費 現状 人工 縮小

・設置の効果が出るのに時間がかかるが止むを得ない。
・数年おきの湧水量調査で、明確な効果が確認できれば、計画完了までの時間を短縮できるだけの予算確保も望める。
・新設物件への設置をPRすることで、設置件数を増やす。
・再任用職員を活用する。

補助シート (事業名) 雨水浸透ます普及事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
71	<p>継続事業であり、単年度目標設定事業。年90基を目標に設置してもらい、補助金を交付。目標件数を超えた場合、補助金増額の補正要求を検討、また次年度補助の内容について精査。</p>	<p>継続事業であり、単年度目標設定事業。年90基を目標に設置してもらい、補助金を交付。目標件数を超えた場合、補助金増額の補正要求を検討、また次年度補助の内容について精査。</p>	<p>継続事業であり、単年度目標設定事業。年90基を目標に設置してもらい、補助金を交付。目標件数を超えた場合、補助金増額の補正要求を検討、また次年度補助の内容について精査。</p>	<p>継続事業であり、単年度目標設定事業。年90基を目標に設置してもらい、補助金を交付。目標件数を超えた場合、補助金増額の補正要求を検討、また次年度補助の内容について精査。</p>
〇〇				

事業シート (事業名) 環境保全運営経費

◇事業目的・事業対象

・複雑多岐にわたる現代の環境問題に対処するために、関係機関との協議及び情報交換を行う。
 ・市内の事業場の公害関係情報を電算機に入力・管理し、事業場への指導等を適切に実施する。

◇事業の概要

・環境行政に関する諸問題に対処するために、環境省、静岡県等関係機関との協議及び「静岡県都市環境保全行政研究会」での情報交換等を行う。
 ・大気汚染防止法、騒音規制法等の環境法令に基づき事業者から届出される「特定施設設置届出」、「氏名等変更届出」等の事業場に関する情報や、公害苦情に関する情報等を一元管理する。
 ・その他、環境保全業務の推進

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成2年度	-	一般会計	自治事務(その他)		-		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	4,483	3,839	7,323	3,313
	決算	3,980	3,162	6,879	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	3,980	3,162	6,879	3,313
	一般会計繰入金				
人件費 (千円)		29,400	26,600	26,600	22,420
人工	正規	4.2	3.8	3.8	3.1
	再任用(h31)				0.2
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・環境行政に関する諸問題に対処するために、環境省、静岡県等関係機関との協議及び「静岡県都市環境保全行政研究会」での情報交換等を行う。
・大気汚染防止法、騒音規制法等の環境法令に基づき事業者から届出される「特定施設設置届出」、「氏名等変更届出」等の事業場に関する情報や、公害苦情に関する情報等を一元管理する。
・その他、環境保全業務の推進

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 改善 小項目 非常勤・再任用 / 事業費 現状 人工 縮小

・再任用職員を活用する。